

第2期君津市スポーツ推進計画(素案)(概要版)

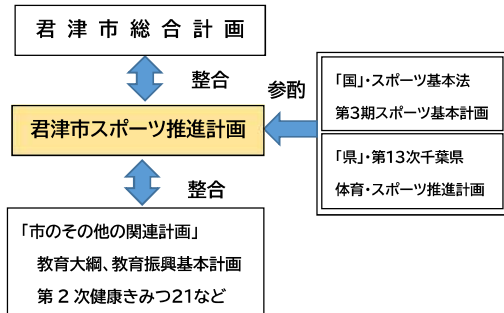
第1章 計画の策定に向けて

1 計画策定の背景・目的

本市では、平成28(2016)年度から令和4(2022)年度までの7年間を計画期間とする第1期君津市スポーツ推進計画において、基本理念に基づき、「する」「みる」「ささえる」のスポーツ推進を図ることを目標に、各種施策に取り組んできました。この間、社会情勢の変化等により、スポーツに求められるニーズ、価値観も多様化、複雑化し、これからのスポーツ推進の施策にあっては、スポーツを活用したまちづくりを目指していくことも必要となり、新たに「むすぶ」スポーツの推進を加え、計画を策定します。

2 計画の位置づけ

スポーツ基本法第10条に基づき、国・県の関連計画及び君津市総合計画等との整合性を図りながら、本市のスポーツに関する施策をより効果的に推進していく計画とします。



3 計画の期間

令和5(2023)年度から令和8(2026)年度までの4年間とします。

4 社会状況の変化等

- (1)人口減少、少子高齢化の進展
- (2)子どものスポーツ活動の二極化
- (3)健康に対する意識の向上
- (4)パラスポーツの推進
- (5)スポーツによる地域づくり

5 計画とSDGsとの関わり

SDGsに掲げられた17の目標のうち、特に関連性の高い5つの目標のゴール達成へ向け、施策を推進していきます。



第2章 計画の基本的な考え方

1 基本理念

一人ひとりが健康で、個人個人にあったスポーツを推進し、年齢、性別、障害の有無に関わらず、すべての市民が身近な場所で気軽にスポーツを楽しむことができるとともに、スポーツを通じた交流人口の拡大による地方創生や支え合う地域共生が醸成される将来ビジョンを描き、基本理念を次のとおりとします。

スポーツによって
人と人をつなぐ『むすぶ』まち きみつ

2 基本方針・目標

- (1)「する」スポーツの推進
- (2)「みる」スポーツの推進
- (3)「ささえる」スポーツの推進
- (4)「むすぶ」スポーツの推進

3 計画におけるスポーツの定義

本計画では、記録や勝敗を競うことを目的とした競技スポーツだけではなく、健康増進や体力づくりを目的とした日常のウォーキングやフィットネス、ヨガ等の軽い運動もスポーツに含め、幅広くスポーツと捉えています。

第3章 施策の展開 ※◎は重点施策

基本方針・目標1 「する」スポーツの推進



◎施策1 スポーツ機会の充実

年齢や性別等にかかわらず、市民の誰もがスポーツを楽しむための機会を提供し、スポーツをはじめめるきっかけとなるレクリエーションや遊びなど、スポーツの推進を図ります。また、民間企業等との連携を図り、市民のスポーツ活動機会の充実に努めます。

- 【取組】
- (1)スポーツ大会等の開催
 - (2)子育て世代のスポーツ機会の充実
 - (3)スポーツの場の提供
 - (4)ニュースポーツの普及・啓発
 - (5)スポーツ用具の貸出の充実

◎施策2 子どものスポーツ活動の推進

幼少期からの運動習慣づくりを推進し、適切な体力や能力の向上に取り組めます。また、学校や地域等と連携し、運動部活動の段階的・地域移行に向けて取り組めます。

- 【取組】
- (1)幼児期のスポーツに関する普及・啓発
 - (2)スポーツ少年団の支援・連携
 - (3)スポーツ機会の創出
 - (4)子どもの体力・運動能力の向上
 - (5)君津市立学校体育活動指導補助者派遣事業
 - (6)小・中学校におけるパラスポーツ等の体験会の開催
 - (7)運動部活動の段階的・地域移行

◎施策3 高齢者や障害者がスポーツに参画しやすい環境づくりの推進

高齢者でも参加しやすい各種教室等を開催し、フレイル予防や生きがいづくりに取り組めます。また、障害の有無に関わらず参加できるパラスポーツの体験等を通じ、相互理解への環境づくりに取り組めます。

e スポーツなどの利点を活かして、高齢者や障害者の新たなスポーツの可能性を研究していきます。

- 【取組】
- (1)高齢者でも参加しやすい教室等の開催
 - (2)生活習慣病等の予防に関する情報発信
 - (3)パラスポーツ等の体験会の開催

◎施策4 スポーツを通じた健康づくりの推進

個人の体力や生活のリズムに合わせ、気軽に取り組むことができるスポーツ機会を提供し、スポーツ活動の定着化、日常化など、市民の健康への関心を高め、健康増進を図ります。

- 【取組】
- (1)きみつ健康マイレージ等の実施
 - (2)地域のラジオ体操会の支援
 - (3)体力・運動能力調査の実施
 - (4)気軽に取り組めるスポーツの周知

基本方針・目標2 「みる」スポーツの推進



施策1 スポーツ情報の提供の充実

ホームページ、SNS等を活用し、市で開催される大会の情報や本市出身選手の情報を発信し、市民の関心を高め、スポーツに親しむきっかけの創出や本市出身のアスリートの活躍を後押しします。

- 【取組】(1)大会の情報発信
 (2)スポーツ団体活動の情報発信
 (3)本市ゆかりのアスリートの紹介

施策2 競技スポーツの支援

体育協会やスポーツ団体等と連携し、競技レベルの向上や競技スポーツ人口の拡大につながる取組を支援します。また、プロ選手などに触れる機会をつくり、市民のスポーツへの関心を高め、スポーツの振興につなげます。

- 【取組】(1)「ちば夢チャレンジかなえ隊」の活用
 (2)トップアスリートと市民との交流会等の開催

基本方針・目標3 「ささえる」スポーツの推進



施策1 スポーツ関係団体等の支援、連携

スポーツ関係団体等の活動を継続的に支援するとともに、市民ニーズに合った機会の提供につなげ、市民スポーツ活動の活性化を図ります。また、スポーツ関係団体等と連携し、指導者の育成に努めます。

- 【取組】(1)君津市体育協会への支援
 (2)総合型地域スポーツクラブへの支援
 (3)君津市スポーツ・レクリエーション連絡協議会への支援
 (4)市民体育祭の開催支援
 (5)スポーツ関係団体との連携

施策2 スポーツ施設の整備、充実

内みのわ運動公園は、多様なスポーツ文化を創出できるよう市民ニーズに合わせた整備に取り組みます。また、既存スポーツ施設については、維持管理を図るとともに、施設のあり方について検討し、スポーツ環境の向上に努めます。施設の整備には、国・県補助金のほか、民間活力の導入、活用を図ります。

- 【取組】(1)内みのわ運動公園のリニューアル
 (2)スポーツ施設の維持管理
 (3)申込等のオンライン化

施策3 スポーツ活動が可能な場の有効活用

身近にある施設や公園等、スポーツ活動を行うことを目的とした公共のスポーツ施設以外でも、スポーツに親しむことができる場所の確保や環境づくりに努めます。

- 【取組】(1)学校体育施設開放事業の推進
 (2)小糸川右岸ジョギングコースの整備
 (3)民間企業等との連携

施策4 スポーツを通じた広域連携の推進

利用者の利便性の向上を図るため、近隣自治体と連携し、スポーツ施設等の相互利用を目指します。

- 【取組】(1)広域連携によるスポーツ施設等の相互利用

基本方針・目標4 「むすぶ」スポーツの推進



◎施策1 スポーツツーリズム等を活用した地域活性化

地域資源を活かし、スポーツと融合したスポーツツーリズムの推進による交流人口の拡大を図り、地域活性化につなげます。

- 【取組】(1)スポーツツーリズムの推進
 (2)エコツーリズムの推進
 (3)大規模大会等の誘致

施策2 新たなスポーツ産業等との連携

新たなスポーツ産業等が持つ可能性について、調査・研究するとともに、民間スポーツ関連産業や学校の誘致などに取り組み、新たなスポーツ機会の創出やスポーツの裾野の拡大を目指します。

- 【取組】(1)アーバンスポーツの機会創出
 (2)新たなスポーツ産業等の裾野の拡大

第4章 計画の実現に向けて

1 計画実現に向けた推進

本計画の実現のためには、スポーツ関係団体等との連携、協働が重要であり、それぞれの役割を踏まえ、取組を推進していきます。また、施設の整備については、施設ごとの具体的な対応方針を定めた個別施設計画を基本とし、必要に応じて別途、計画等を策定していきます。

2 適切な進行管理

P D C Aサイクルにより、適切な進行管理に努めます。

3 成果指標と進捗状況の検証

項目	現状値	目標値
千葉県運動能力証合格率(小学校)	40.3% (R1)	45.0%
千葉県運動能力証合格率(中学校)	32.7% (R1)	38.0%
成人の週1回以上のスポーツ実施率※	51.1% (R3)	59.9%
成人の週3回以上のスポーツ実施率※	23.8% (R3)	28.0%
「体力に自信がある」市民の割合※	50.6% (R3)	60.0%
「する」スポーツに関心のある市民の割合※	50.8% (R3)	55.0%
「みる」スポーツに関心のある市民の割合※	36.0% (R3)	40.0%
「ささえる」スポーツに関心のある市民の割合※	10.7% (R3)	15.0%

※令和3年度に実施した市民の体育・スポーツに関するアンケート調査の数値
 (参考)市民の体育・スポーツに関するアンケート調査結果抜粋

本アンケートは、市民のスポーツ活動の現状やスポーツに関するニーズを把握し、本計画策定の基礎資料とすることを目的とし、令和3年7月から10月にかけて実施しました。

アンケートでは、運動やスポーツを「する」「みる」「ささえる」ことが好きと回答している一方、成人の約半数は、週1日以上運動やスポーツを行っていない状況や、自分の体力にも自信がないと回答しています。

このことから、気軽にできる運動やスポーツなど、身体を動かす取組を展開していく必要があります。